

北海道映像コンクール 長編部門（放送）にて 最優秀賞、北海道知事賞受賞にあたり

撮影部 報道撮影グループ カメラマン青木 和宏

この度は、このような賞を頂き、とても光栄に思います。

今回、受賞しました『新人看護師に迫る「過労危機」～白衣の天使を辞める理由～』という作品は、UHB北海道文化放送「みんなのニュース」の篠原巨樹キャスターの思いから始まりました。

「人の命とかかわる看護師の大変さを伝えたい。」

今、様々な職種が人材不足で問題が起きています。

それは、医療の現場でも同じでした。

看護師の自殺が道内で相次いで起きている。

どうしてなのか、実際に病院ではどういったことが起きているのかという事を取材しました。

亡くなった看護師のご遺族の悲痛な思いや、深夜の病棟での取材では、新人の看護師たちが、点滴や薬の種類、患者の介助、さらには空き時間には治療方法や薬の知識の勉強をする。

間違いが許されない現場の看護師たちは私たちの想像以上にハードワークだという事を体験しました。

年々、医療が発達していく中で、現場の看護師たちは、やらなくてはいけない事が昔に比べて増えています。

この大変さをどう伝えることができるのかを考えました。

その中で、病院というデリケートな現場では、入院患者のプライバシーへの配慮や、病院スタッフへ緊張感を与えないようにするために、ほとんどの撮影を小型のカメラで行いました。

結果、機動力を有効に使うことができ、看護師さんの急な動きにもついていきやすいというメリットもありました。

今回このような賞を頂いたことを機に、改めて人に伝えるという事を考え、今後の撮影に生かしていきたいと思えます。